

認知症サポーターの役割

認知症サポーターは

「なにか」特別なことをやる人ではありません。

サポーター
とは

サポーターは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることがスタートです。

認知症サポーターは何か特別のことをやる人ではありません。認知症を理解した認知症の人への「応援者」です。

地域や職場などで認知症サポーターとして何ができるか、考えてみましょう。

例えば

- ゴミ出しが難しくなっている人にゴミ出しの日に声をかける
- お買い物に行く時に、誘って行く
- 地域の行事と一緒に参加する
- 休憩がとれるように声をかける
- 趣味がつづけられるようにサポートする

ゴミ出し サポート編

